

平成30年度秋期 ネットワークスペシャリスト 午後I試験 解答速報

(株) アイテック IT人材教育研究部 2018.10.23 発表

問1 SaaSの導入

【解答例】

[設問1]

- (1) ア：フォワード イ：リバース
- (2) 利用者ID

[設問2]

- (1) メソッド名：CONNECT
対策：C&CサーバのURLへの通信を遮断する。
- (2) ウ：プロキシサーバのルート証明書

[設問3]

- (1) エ：コントロール
- (2) デフォルトルートのネクストホップをSD-WANルータに変更する。
- (3) オ：SD-WANコントローラ
- (4) G社SaaS宛での通信
- (5) ① 社内PCからG社SaaSへの通信はプロキシサーバを経由しないから。
② 出張先のPCは、直接G社SaaSを利用するから。

問2 ネットワーク監視の改善

【解答例】

[設問1]

ア：ICMP イ：IPアドレス ウ：UDP エ：コミュニティ名

[設問2]

- (1) デフォルトゲートウェイ
- (2) VRRP広告（又は、VRRPアドバタイズメント）
- (3) VLAN100, VLAN200, VLAN300

[設問3]

- (1) p2
- (2) スパニングツリーが状態遷移中で経路がなかったから。

[設問 4]

- (1) SNMP エージェント: コア SW1, コア SW2, サーバ SW, フロア SW1, フロア SW2, フロア SW3, フロア SW4 のうち, いずれか一つ。

SNMP マネージャ: 監視サーバ

- (2) ポーリング: 短時間で回復する機器の状態変化を検知できない問題
トラップ: 通信経路が途絶した場合にメッセージが監視サーバに届かない問題
- (3) 確認応答を受信するまでメッセージの再送信を繰り返す。

問 3 企業内ネットワーク再構築

【解答例】

[設問 1]

ア: ラベル イ: PE ルータ ウ: ネットワーク エ: IP-VPN
オ: インターネット VPN

[設問 2]

- (1) MPLS
(2) 利用者ごとのパケットを識別するため。

[設問 3]

- (1) マルチキャストが必須である OSPF を利用するため。
(2) 他拠点の経路情報
(3) BGP の経路情報を, OSPF の経路情報よりも優先する。

[設問 4]

- (1) 各拠点の FW の設定変更に伴う工数が増えるから。
(2) FW2 のグローバル IP アドレス
(3) 機器: FW2, FW3
設定: S-S トンネルのインタフェースをパッシブに設定する。

以上